

学農学部での講義要旨プリント。
 奥田 稷, 1976: 地這り崩壊と降水量の関係, 施工技术, 9, No.4, 13-18.
 大滝俊夫, 1965: 降雨によるがけ崩れの水文学的研究, 研究時報, 17, 351-395.
 斉藤 実, 1977: 地形・地質・土質と土砂災害, 小豆島災害調査研究報告, 香川大学, 99-112.
 ———, 1977: 香川県の地形地質と土砂災害について, 香川県防災気象連絡会機関誌「あらし」, 76, 3-16.
 瀬尾克美他, 1973: 土砂害(主に土石流的被害)と降雨量について, 新砂防, 砂防学会, 26. No. 2.
 田中 茂, 1977: 山くずれと地質, 地形構造の関連

性に関する研究, 自然災害特別研究成果, No. A-51-4, 10-11.
 上原勝樹, 1969: 瀬戸内地方に適合した畑地かんがいの基礎的研究, 香川大学農学部学術報告, 20, No.2 180-183.
 安井春雄, 1977: 台風7617号と51.9豪雨および気象と災害, 香川県県土保全対策調査研究報告書, 1-10, 31-77.
 ———, 1975: 台風7408に伴う七夕豪雨の解析, 研究時報, 27, 391-417.
 ———, 1977, 集中豪雨—51.9豪雨の実体, 香川県防災気象連絡会機関誌「あらし」, 75, 3-19.

第19期 第16回 常任理事会議事録

日時 昭和53年5月1日(月) 14.00~16.00

場所 気象庁海洋気象部会議室

出席者 岸保, 小平, 浅井, 朝倉, 内田, 奥田, 門脇, 杉本, 立平, 松本, 股野.

報告

[庶務]

1. 4月3日, 第21回国際理論応用陸水会議事務局長から, 同会議開催の通知がきた(8月24日~31日, 於京都国際会館).

2. 4月8日, 松永記念科学振興財団から, 松永賞贈呈候補者推薦依頼がきた(メ切6月30日).

3. 4月10日, トヨタ財団から, トヨタ財団昭和53年度研究助成等の案内がきた.

4. 4月19日, 幹事学会である日本航空宇宙学会から「第25回風に関するシンポジウム」の講演募集要項の掲載方について依頼がきた(11月28日, 於宇宙研講堂).

5. 4月20日, 当学会北海道支部から支部だよりがきた.

6. 4月20日, 第15回理工学における同位元素研究発表会運営委員会から, 仮プログラムの送付および周知依頼がきた(6月27~29日, 於国立教育会館).

7. 4月27日, 計測自動制御学会から, 第4回リモートセンシングシンポジウム開催協賛の依頼がきた(11月21~22日, 於機械振興会館).

[天気]

気象学入門講座第2回を5月号に掲載の予定, 調査研究へのアドバイスは7月号より掲載の予定.

[気象研究ノート]

第134号新しい数値予報は, 初校が終わり5月中旬に発刊の予定.

[各賞]

奨励金受領候補者募集は, 4月号に掲載. 特に, 各管区気象台長(支部長)と東京学芸大学 島貫陸先生に推薦方依頼する.

[夏季大学]

“天気”の講座をテキストに代用する. 受講料は据え置くこととした.

[南極]

Polexの解説を, 南極, 北極共に国立極地研究所の川口氏に依頼して“天気”に掲載したい.

議題

1. 春季大会の準備について

理事長あいさつ, 事業経過報告, 事業計画等について原案承認.

2. 昭和52年度予算決算について

担当理事から原案について説明があり, 了承された.

3. 昭和53年度予算(案)について

担当理事から原案について説明があり, 了承された.

4. 昭和54年度当番支部について

福岡が当番に当たるので, あらかじめ事務局から了解をとることにする.

5. その他

(1) 第4回リモートセンシングシンポジウム協賛の件は, 協賛することを了承.

(2) 第21回国際理論応用陸水会議開催の周知方依頼について, 天気に掲載することを了承.

承認事項 有馬三郎ほか11名の新入会員を承認.